



みんなのしおり

第86号 ♪30年度♪

いっしょに見ると…

まだ一度も行ったことはないのですが、映画館では応援上映というものが好評を得ているそうです。アニメキャラクターに声援を送ったり、映画を見て一緒に歌ったりすると聞いて、はじめは映画館で声を出すなんて！とびっくりしました。また、CDは買わないけれども、ライブの出足はとてもいいとも聞きます。テレビの映像もきれいにはなったけれど、わざわざ足を運んでみんなで一体化するライブ感は、たしかにとっても楽しい時間です。

図書館でもたくさんのおはなし会でお本を読んだり、小学校でブックトークをしたりしています。学校では1クラス約30人に見てもらっているのですが、子どもによって、クラスによっても絵本を見る反応はいろいろで、今日はどんな反応かな～といつも楽しみにしています。『アナンシと五』という昔話をストーリーテリングした時、耳をふさぐ子、「言っちゃだめ～」と主人公を引きとめようとする子を見ると、本当にかわいらしくてしょうがないし、高学年になると、繰り返しがあると「あー、またか」と中盤、気が抜けたのがこちらにも伝わってくるのですが、話しの展開があるとわかるや、気を引き締めなおすのが伝わってきて、それはそれでとても嬉しいものです。また、低学年だと話しの‘おち’が分からない子もいるのですが、隣の子が先を予想してハッと肩をすくめたのを感じ、その子もあっ！と気づく様子を見れたりします。家での読み聞かせも楽しいんだけど、周りの人たちのすごーい！！なんでー？など、反応も感じながら、一緒にライブで楽しむおはなし会。ボランティアさんのMCもその場ならではの楽しいですよ。ぜひ、おはなし会で感じてください。

【西村】

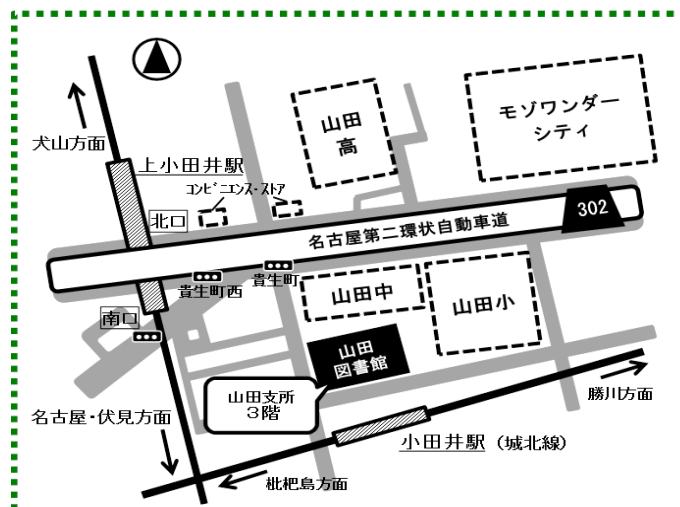
●人形劇団のミニ天井さんが山田図書館にきてくれました。。

「ぐりとぐら」など、人形劇の他に、歌と一緒に歌ったり、絵かき歌を歌ったり、しかけのあるパネルを使った体操もあり、あっという間の一時間でした。



●「大きくなっても親子でわらべうた」

当館では月に1回、「赤ちゃんのわらべうた」を行っています。今回はもう少し大きな人向けのわらべうたの会です。2月は節分の月ということで、「まめ」がでてくるわらべうたを3曲歌いました。みんなで歩いてぐるぐるまわったり、先生のまねっこも上手にしていました。



現役中学生のおすすめ

中学生の職業体験生に本を紹介してもらいました。

本は当館でお尋ねください

『delete（ディーリー）』

本田孝好/著（KADAKAWA）

この本は、車イスで生活している圭司が裕太郎という若者と一緒に「ある仕事」をしていく物語です。その「ある仕事」とは、死者のデータを削除すること。いらいにんの死亡確認をしに裕太郎が出かけます。しかし、殺人事件であるにもかかわらず、無情にもデータを消す圭司と裕太郎の間でケンカが起こってしまいます。仲直りはできるのか？そして2人の運命は？

『響け！ユーフォニアム』

武田綾乃/著（宝島社）

北宇治高校吹奏楽部のお話。主人公の黄前久美子は春から高校1年生になり吹奏楽部に入ります。しかし関西大会にも進めていないのでした。そんな部活に新しい顧問が変わった新しい風を吹く。全国大会出場を目指し、たくさんのトラブルを乗り越えたその先の景色は・・・！？

『君の臓腑をたべたい』

住野よる/著（双葉文庫）

「誰も、僕すらも本当は草舟なんかじゃない。流されるのものがされないのも、僕らはえらべる。」【秘密を知ってるクラスメイト】くんと、【秘密をにぎる彼女】ちゃんのお話し。たくさんの感動を味わえる本です。隠れた名言を探して楽しんでみて下さいね♪

『オペラ座の怪人』

ガストン・ルルー（角川文庫）

オペラ座で起きた数々の奇妙な事件。“オペラ座の怪人”と噂される男は一体何者なのか。歌姫クリスティーヌに恋をしたために、ラウルはこの怪異に巻き込まれる。ラウルとクリスティーヌ、そしてオペラ座の怪人はどうなるのか。



山田図書館マスコットキャラクター
「ヤマリー」



楽しさいっぱい。

子ども向け行事など

★おもちゃ病院 (第3日曜日 9:30-12:00)	3/17 <u>申込はいりません</u>
★赤ちゃんのわらべうた (第1金曜日 10:30-11:00)	3/8.. <u>申込はいりません</u>
★ちいさいおはなし会“すくすく” (第2・第4木曜日 ①10:30- ②11:00-)	3/14 3/28 <u>申込はいりません</u>
★みんなのおはなし会“よむよむ” (第1・第3土曜日 11:00-11:30)	3/2 3/16 <u>申込はいりません</u>

★図書館歌声セミナー～なつかしと青春の名歌～をおこないました！

初めての開催でしたが74名もの方に参加していただき大盛況でした。詳細は次号をご期待ください。